

月刊

さわやか

第14号
平成20年6月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

設立30周年記念行事始まる

道などの歩道、浅川土手・河川敷等々 この日のために各班

日野市シルバー人材センターの設立30周年（平成21年2月16日）を記念する各種行事の先頭を切つて、5月18日（日）、全33地域班がいつせいに、それぞれ地域でボランティア清掃をおこないました。全地域班の一斉清掃は初めての試みです。清掃箇所は、日野駅、豊田駅、高幡不動駅、南平駅、平山城址公園駅など駅周辺の街路、万願寺中央公園、東光寺西公園など各地の公園内、甲州街道や国道20号バイパス、北野街道

駅前、公園等でボランティア清掃 初の試み全33地域班がいつせいに

が選ばれました。

「グリーン作戦」上回る 414人が参加

全班的参加者は414人に達し、4月13日の多摩川・浅川「グリーン作戦」の実績393



「さあ、やろう」南平2班の“出陣式”

会員数

平成20年4月30日

1,586名

男性 1,215名

女性 371名

入会者数

4月度59名

(男44名、女15名)

但し、退会者 15名

人を上回りました。

「やはり設立30周年なので、いつもより多いね」と、南平2班の平田班長はニコニコ顔。参加者は21人になりました。班単位での最多は南平3班の29人。甲州街道の歩道を清掃した日野2班（23人参加）の柳田班長は、「車の運転手たちも注目していた。いいアピールになったと思う」と語っていました。

第2回地域班長会議

今年度2度目の地域班長会議が5月15日、生活・保健センターで開かれました。井口会長が挨拶し、シルバーの3大指標のうち、契約金額、就業率の2点はよく向上しているが、肝心の会員数は年間で50名減の「大番狂わせ」になっているとのべ、会員増強の努力を呼びかけました。討議では主として、全地域班一斉清掃や「春の地域班会議」の段取りを話し合いました。

リサイクルフェア開催

当センターが市の委託を受けて運営しているリサイクル事業のイベント、第7回リサイクルフェアが6月8日（日）、リサイクル事務所前広場で開催されました。今年は再生自転車の販売も復活、のべ1050人の会員、市民で賑わいました。

「シルバーひの」の発行回数・時期を変更します

会報誌「シルバーひの」は従来季刊として、7月、10月、1月、4月に発行してきました。今年度は9月、1月、4月の3回発行とさせていただきます。

理由は、新年号を設立30周年記念特集号として特大32ページカラー版で発行するため。9月号も30周年記念行事を収録して16ページ建て。4月号は通常版。年3回発行ですが、総ページ数は従来より増えます。

会員の皆様のご了解と変わらぬご愛読のほどをお願い申し上げます。

(広報部会)

第56回定期総会関係は3～5面に掲載

個人情報管理徹底を

――最近の紛失事故に関連して

最近、当センターのある会員が「広報ひの」を戸別配達中、配布先リストを紛失するという事故が発生しました。しかも、これは新聞でも報道されるところとなりました。

このことから、個人情報の管理に関する市民の関心も高まり、市としても個人情報の適切な管理のため指導・監督を徹底することとなりました。事故を出した当センターにおいては、この点を厳しく受けとめ、情報の漏えい・紛失等のないよう管理の徹底を図らなければなりません。さしあたってはまず、最も個人情報を扱う部署である事務局において、情報管理のいつそうの徹底を図るとともに、とくに名簿等の扱いなど、具体的な不祥事防止策を構築しなければなりません。

また同時に、各専門部会・委員会、さらに各地域班、職場グループにおかれても、たとえば班員名簿の保管のあり方など、

情報管理の現状を再点検し、漏えい・紛失等の防止について改めて検討されるようお願いいたします。
(事務局)

就業は仕様書、マニュアルどおりに

市から委託されている校舎管理補助業務の職場数カ所で、会員の就業が「契約内容不履行」であるとの指摘を受けています。具体的には仕様書や業務マニュアルの内容をきちんと履行せず、仲間からの注意にもかかわらず改善されないというもの。とくに「就業継続を望まない」と申し渡されました。

この会員に対しては、統括リーダー、事務局担当者が当会員と話し合い、事態の重要性を認識してもらい、本人了承の上「就業辞退」の措置をとりました。就業会員の業務不履行は、一

昨年にも大きな問題になり、当時、『シルバーひの』や事務局だより『爽』でも取り上げ、「就業の責任を誠実に努めよう」「仕事は忠実に履行しよう」と訴えました。

この種の不祥事は、著しくシルバー人材センター事業の信用失墜に繋がります。全員が仕様書や業務マニュアルどおりの就業に心がけ、決められた業務内容は最低限実行するようにしなければなりません。

就業期限確認書 交付式でも厳重注意

7月から就業開始の公共部門28カ所37名に対し6月6日、就業期限確認書が交付されました。交付式は橋本理事の司会です。められ、井口会長が挨拶、交付をおこない、安藤事業部会長、高木総務部会長、伊藤安全管理委員長らがお話しました。

各講師とも、最近のリスト紛失事故や学校関係トラブルなどの不祥事に言及し、たんに就業辞退ではまず、場合によっては配分金返還もありうるなど、厳重注意を促しました。

理事会ニュース

- 第2回理事会 5月29日
- ・審議事項 正会員の入会
- ・報告事項 広報配布委託契約に係る個人情報の紛失について、4月度事業運営状況
- 各専門部会・安全管理委員会の活動報告
- 第3回理事会 5月30日
- ・議題 常務理事の選出について

「センター」行事日程

- 6月16日(月)地区リーダー会議
- センター会議室
- 7月15日(火)地域班長会議
- 生活・保健センター
- 7月16日(水)さわやか安全大会
- 日野市民会館小ホール
- 7月17日(木)役員・地域班長合同研修
- 日光市SC



配分金の支払日

- 6月20日(金)
- 7月18日(金)
- 8月20日(水)
- 9月19日(金)
- 10月20日(月)
- 11月20日(木)
- 12月19日(金)

第56回定期総会開く

平成19年度事業報告・一般会計決算報告を承認

第56回定期総会が5月30日午前10時から七生公会堂で開催されました。最初に名誉会長の馬場弘融市長が挨拶され、来賓の手嶋精一郎市議会議長が祝辞をのべられました(挨拶、祝辞5面)。

次いで井口義雄会長が挨拶をおこない、19年度事業実績の特徴と20年度の課題を明らかにし、とくにリサイクル施策の拡充を強調しました(会長挨拶4面)。つづく議事は次のとおりです。資格審査報告

- 本日の会員数 1592名
- 本日の出席者 222名
- 委任状提出者 857名
- 合計1079名で総会成立
- 議長団等の選出
 - 議長 江見陽二郎氏(南平3)
 - 副議長 柳田京次氏(日野2)
- 議案審議
 - * 第1号議案 平成19年度事業報告
 - * 第2号議案 平成19年度一般会計決算報告
 - * 監査報告
 - * 第3号議案 平成20年度一般

会計補正予算第1号(案)
* 第4号議案 正会員会費規程の一部改正

* 第5号議案 役員を選任
この間、高木計宏理事が第1・4号議案について説明、議案質問3点にも回答し、今井信一理事が第2・3号議案について、安藤義男理事が第5号議案について説明しました。
以上5議案はすべて満場一致で承認され、議事は午前11時15分に終了しました。



定期総会で審議する会員たち(H20.5.30)

安全標語入選者の発表と表彰

総会の議案承認後、平成20年度安全標語の入選作品(6面参照)の発表と入選者の表彰がおこなわれました。壇上では最優秀作品の土方守蔵氏に井口会長から賞金が授与され、土方氏がお礼の言葉をのべました。

池田局長を常務理事に選任

第56回定期総会は、今年4月に事務局長に就任した池田和宣氏を理事に選任しました(第5号議案の承認)。続いて同日午後開かれた理事会で、池田局長は常務理事に選任されました。

入会初年度の会費を合理的に設定

第56回定期総会の第4号議案は、年度途中で入会した方の会費を3カ月ごとに4分類し、初年度会費を合理的に設定したものです(左表参照)。総会承認を経て7月1日からの施行となります。

4月～6月	2000円
7月～9月	1500円
10月～12月	1000円
1月～3月	500円

第2部アトラクション

演歌歌手岩崎愛子さん熱唱

総会第2部のアトラクションは、総会では初めての歌謡ショウ。日野市百草在住の演歌歌手、岩崎愛子さんが、デビュー作で自身作詞の「百草慕情」(昨年1月CD発売)をはじめ、森昌子「越冬つばめ」、オリジナル「ためいきのブルース」、「日本音頭」など熱唱しました。第1部終了後に帰る人が少なかったのも特徴です。

それってなに?

リサイクル・フェア

ごみ減量対策として日野市から委託されているリサイクル事業を、広範な会員や市民の方々に知っていただくためのイベント。平成14年5月11、12両日に第1回リサイクル・フェアが開催されました。以後、毎年5、6月に開催され、今年は7回目。内容は再生家具や再生自転車などリサイクル品の販売を中心に、市ごみゼロ課や手芸・紙すき・ミニ盆栽などの出店、焼そば、コーヒートなどの飲食コーナー、さらに好評のガラポン、新設のパターゴルフもあります。

第56回定期総会

井口会長挨拶

本日は、第56回定期総会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

日頃は就業活動、地域活動、あるいはボランティア活動等のご活躍に対しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、本日は、平成19年度事業実績と決算案のご審議をいただくわけであります。幸いに事業実績は、概ね計画を達成し、決算報告につきましても、当初予想を上回ることができました。これも偏に、行政のご支援をはじめ、事務局ならびに組織をあげてのご尽力の賜物と感謝申



し上げる次第であります。

内容につきましては、後ほど議案書にもとづき担当理事より詳しく報告申し上げますが、契約高については、公共部門、家庭部門の減少をも上回る、民間部門の伸長に大きいものがありました。

契約高は伸張、会員数が問題

これは、就業開拓をはじめとしたセンター挙げての努力であると思っております。しかしながら、残念なことに、会員数の確保については、予算ならびに中期計画で策定した目標を実現することが叶わず、大きな問題を残すこととなりました。

2007年問題と言われた、団塊世代の大量退職が予想されましたが、その後の国や企業、団体等による雇用の延長、あるいは世代個人の生活様式の多様化などにより、必ずしも当初予想されていたような現象とはならず、その現象は緩やかにならされてきていると受け止められます。

この変化は、東京都シルバー人材センター連合においても共

通した現象としてとらえられております。いずれにしても、高齢化の進展に伴い、シルバー世代の増加は避けられない状況にあり、今後のセンター発展への期待は、やはり大きなものがあると考えます。

次に、今後の、とくに今年度の方向性について簡単に触れさせていただきます。

平成20年度は、日野シルバーにとつて大きなイベント対応と、いくつかの課題解決が控えております。19年度の決算を踏まえて着実に20年度の計画実行に向けたセンターの総力を挙げての推進展開をしていく必要があります。

リサイクル事務所の効率的事業運営の拡充を

とくに、リサイクル事務所に ついては更なる効果的、効率的な事業運営を展開し、リサイクル施策の拡充を図っていきます。

さらに、機を同じくして、国の公益法人制度改革の移行初年度にも当たります。公共、民間、一般家庭向け、という顧客を意識し大事にしていくことは当然

ですが、公益性という視点から見た事業の展開がより強く求められてくることとなります。

また、本年は中期計画の策定年度に当たります。むずかしい環境の中で、先の見通しを立てていくこととなります。

そういう意味から、センターの制度や体制の見直しが迫られてきます。センター発足以来、設立30周年を迎える機会に、質的にも大きく飛躍したいものであります。

これらに対応するために、役員、事務局はもとより、会員の皆様のご協力を得ながら、事業の見直し等、施策展開を実行していくこととなります。何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、引き続き、東京都シルバー連合をはじめ、とくに日野市のご指導ご支援を得ながらセンター運営をおこなひ、また就業を通じて行政サービスの一端を担い、併せて地域への貢献を果たしていきたいと願っております。

本日は、会員の皆様方の建設的かつ真摯なご審議を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

馬場市長挨拶

日頃から大変お世話になって
いる日野市シルバー人材センター
の総会にお招きいただき、あり
がとうございます。また、生憎
の雨ですが、大勢の会員の皆様
お揃いで、このように立派に開
催でき、心からお喜び申し上げ
ます。

日頃からシルバー人材センター
の皆様方には、市政の大きな担
い手として活躍をいただいで
います。総会資料では1年間の
業績が全体で5億9千万ですが、
その概ね半分弱が公の仕事のお
手伝いで、ありがたく思います。

具体的には、校舎の管理、駅
前等の自転車放置防止の指導、



さらには公園の清掃、施設ある
いはスポーツ施設の管理、市内
安全パトロール、そして事務補
助、いろんなものの全戸配布な
ど、数多くの公務としての仕事
のお手伝いをしていただいでい
ます。

加えて、子供たちの放課後の
安全のためのボランティア・パ
トロールとか、クリーン事業、
河川の清掃等のボランティア活
動をしていただいでいます。

そして、最近では、年配の皆
様がどのように働くかというこ
とでのフォーラムも開催をして
いただいでいますが、団塊の皆
様へのPRとしても大変有効で
はないかと思っています。

総会資料等を拝見しますと、
団塊の世代の方々をもっと取り
込まなくていけない、会員増強
が課題とのこと。いま会員
数が1600名弱ですが、その
8割以上の方がお仕事をしてい
ます。

元気な皆様方が街の中で一生
懸命働き、それが地域の活性化
にも繋がるわけで、これからも
お仕事がしやすいような環境整
備のために、議会ともども力を
合わせていきたいと思えます。

手嶋市議会議長祝辞

私も定年ですごく寂しい思い
をした経験があり、あとは余暇
を楽しもうと思えました。

ところが、働いた余分の時間
を楽しむから余暇であつて、最
初から余暇であると余暇になら
ないんですね。そういう中で、



シルバー人材センターの皆様方
は働きながら余暇を楽しむ時間
を持って、非常にいいなと思
います。

私も、働けるうちは一生懸命
働いて、余った時間に余暇を楽
しみたいと思つています。私の
余暇は、俳句や童謡を作ること
です。どうか皆様方も、一生懸
命働きながら、余暇を楽しんだ
り、いい人生を送つていただ
けよう祈念申し上げます。

シルバー人材センターの家事援助サービス

お宅の中の「困った」をお手伝いします

洗濯・布団干し 庭掃除・草取り ごみ出し・片付け お買い物 お留守番
草花の水やり 食事づくり 室内清掃 トイレ・洗面・風呂場.....

基本時間は2時間以内 / 1960円(交通費別途)

日野市シルバー人材センター Tel:581-8171 Fax:584-8390

設立30周年記念

今年の安全標語

入選作を発表

最優秀作品 1点

今日もまた 無事で帰ろう
家族のもとへ
土方 守蔵(南平2)

佳作 5点

事故防止 心の余裕と
平常心
足立 忠弘(西平山)

和と知恵で 築く無事故の
明るい職場
近藤 慎一(平山1)

一寸した 心のゆるみ
事故のもと
滝内 昇(新井・高幡)

みんなで築く 安全職場
一人ひとりが 責任者
山口 等(新町)

つまづくな 足元注意
あわてるな
渡邊 邦夫(南平2)

107点の応募作品

前年比67%増

本紙第11号(3月号)で募集した今年の安全標語には、当センター設立30周年記念を反映してか、会員の皆様から前年比67%増の107点の応募をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年のテーマは「転倒防止」と「職場の安全就業」でした。

安全管理委員会の入念な選考により、上記のように計6点が入選しました。今年は設立30周年記念として、最優秀作品に1万円、佳作に各5千円を贈呈。

(安全管理委員会)

設立30周年記念

さわやか安全大会

7月16日(水)12:30~
日野市民会館小ホール

第1部 安全フォーラム

7名の職場代表による体験報告

第2部 基調講演

飯野謙次氏「ダメ失敗を撲滅する」



センターを出る市内安全パトロール隊

自転車安全利用5則

改正道路交通法の6月施行により、自転車利用では次の点に十分注意しましょう。(横関文男) 自転車関係統括リーダー)

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外。
- 2 車道は左側を通行。
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行。
- 4 安全ルールを守る。
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
夜間はライトを点灯
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用。
「あぶないよ 無灯火 携帯二人乗り」

お元気ですか

4月中旬のお昼前のこと。私が就業している駐輪場前の三叉路の坂道を、リュックを背負った70代後半から80代くらいの男性が杖をつきながら下りてきました。

その男性は、三叉路の近道をしよつと急な坂の方へ向かい、転んでしまいました。自分では起き上がれず、私が飛び出して行って起こしてあげましたが、足を悪くしたようで歩くことができません。

そこへ近くの大学の女子学生が通りかかり、二人で男性を歩道まで抱きかかえ、椅子に座らせました。血を流している手の甲の応急手当もしました。聞くと病院へ行くところで、女子学生が付いて行ってくれろと言ったので、タクシーストップまで送りました。

しかし、タクシーストップはなかなか止まってくれません。ようやく1台が停車。しかも、その奇特的な運転手は、事情を察して車を歩道に乗り入れ、男性を乗せてくれました。女子学生も同乗してタクシーストップは無事出発し、ホッとしました。

女子学生さんの親切さ、運転手さんの親切さ。若い人の親切に、心暖まる一日でした。(伊藤義視)